

1 「良い測量機」とは、どんな条件を備えていると思いますか？

使用感と導入コストです。何よりユーザーにとって使い易いことが一番です。作業現場での道具としてのサイズ感・耐環境性能・搭載ソフトウェアの三つが兼ね備わっていることが重要です。

また導入するにはコストも大きなハードルのひとつです。どんなに素晴らしい測量機器でもコストのハードルが高いと導入できません。MT-105 は納得の機能と驚きのコストパフォーマンスを両立させています。

3 今後、測量機の展望はどうなっていくと思いますか？

いまコストパフォーマンスに優れた GNSS 受信機が数多く販売され、また大手通信キャリアによる補正配信サービスの測量・土木業界への本格的な参入で、GNSS を取巻く市場環境が劇的に変化しています。今後は GNSS 受信機 がミドルレンジのトータルステーションに置き換わり、トータルステーションはローエンドとハイエンドの 2 極化が加速すると思われる。弊社では最新型 GNSS 受信機も取扱っていますので、お気軽にお問合せください。

宮澤氏に聞く！
測量機選びの
知恵袋

2 ご自身が測量機を選ぶなら、どんな点をチェックしますか？

アフターサービス面です。一回購入したらかなり長い付き合いになります。機能や精度の良いことは当たり前ですが、アフターサービス面が普通に日本国内で受けられるかは重要なポイント。初期費用が低くてもランニングコストが高ければ元も子もありません。購入元できちんとした修理が可能か、また修理部品が日本国内でストックされているかが選定の基準になります。MT-105 は国内に部品を準備、修理可能な代理店もごございますので、ご安心ください。



MT-105 Q

日本総代理店

グレートスター ジャパン株式会社

〒231-0023 横浜市中区山下町 223-1 NU 関内ビル 10F
TEL : 045-228-8677 FAX : 045-228-8678
<http://www.greatstarjapan.co.jp>

日本市場向けに徹底的に作り込まれた仕様

開発秘話インタビュー！

トータルステーション
MT-105

2級 A
国土地理院



PREXISO^{IPRO1}



製品紹介動画

Changzhou Huada Kejie Opto-Electronics Co., LTD

“日本人の品質に対する意識・日本市場に特化した仕様を、 現地技術者と共有し、設計を重ねました。”

MT-105 開発リーダー：中村 聡

日本トップメーカーの測量機設計分野で長年キャリアを持つ中村氏。2年間中国・常州に駐在し、開発リーダーとして設計時から携わった MT-105 について語ってくれた。



■ 中国での開発経緯や、設計時のご苦労についてお聞かせください。

現地スタッフとは言語や文化の壁があり、当初コミュニケーションが円滑にとれていませんでしたが、日本人の品質に対する意識・日本市場に特化した仕様を現地技術者と共有し、設計を重ねました。同じ目的のもとお互いの理解を深めて徐々に意思疎通がとれ、協力し信頼し合える心強いスタッフになっていきました。



現地エンジニア達と

■ 設計において、こだわった点はどんな所ですか？

防水防塵はもちろんシフティング機能、USB メモリによるデータの受け渡し、XY デュアルチルト等を搭載して日本ユーザーに受け入れられる測量機を造り込んでみました。



耐環境性 IP66

USB ポート標準装備

■ 最も苦労された防塵防水テストとは？

防塵防水は MT-105 を開発するうえで最大の壁でした。社内に IP66 の試験設備がなかったため、総務に掛合い消火栓を借りて、何度も何度も繰り返しテストをしました。最終的に上海 SGS（認証機関）で試験に合格した時はスタッフみんなで喜びを分かち合いました。



防塵防水テスト

■ 最後に、トータルステーションをご検討のお客様に一言お願いします。

日本市場に合わせたクオリティに強くこだわりました。数々の性能試験・環境試験をクリアし、自信を持って送りだせる製品に仕上がりました。過酷な現場作業に少しでも役立てば嬉しいです。

“純粋な中国製での 2 級 A トータルステーション取得が、 日本で初めてだった事は、感慨無量です。”

企画開発：宮澤 光

測量機の企画営業として、世界中を飛び回った宮澤氏。日本の土木建築市場でのニーズを把握し、現場の期待に応える仕様を実現する為に重ねた苦労について語ってくれた。



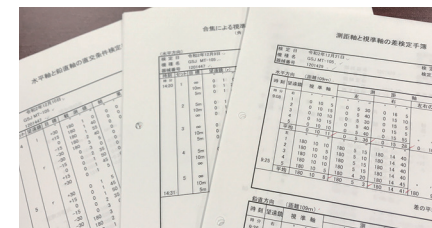
■ 日本市場に中国製品を投入するにあたり、苦労した点を教えてください。

1 つ目は、「完全日本語化」です。当初 MT-105 の原型を見た時、表示部分にかなりの英語表記が残っており、このままでは日本のユーザーには絶対受け入れてもらえないと感じました。膨大な作業量でしたが、着々と翻訳を進めた結果、お客様から大変ご好評の声を頂いた時には苦労が報われました。また「バックライト付きの液晶画面は明るい現場でも見やすい！」との声を頂いています。



表示部分の完全日本語化

2 つ目は、「国土地理院の機種認定」。まずは何をどうすれば日本の機種認定を取得できるのかを調べ、必要な電氣的データの取得方法、認定に必要な資料など中国現地スタッフを納得させるにもエネルギーを費やしました。純粋な中国製（開発・製造）で 2 級 A トータルステーションを取得したのは日本で初めてだったことは感慨無量です。



国土地理院 2 級 A 認定取得の為のデータ



製造の一場面

レール基線による距離チェック

コリメーターによる角度チェック

■ 最後に、トータルステーションをご検討のお客様に一言お願いします。

2 級 A ランクの精度・利便性・低価格のバランスのよいモデルができました。操作性は直感的で現場からも大変ご好評いただいています。その使いやすさをぜひ体感してください。